

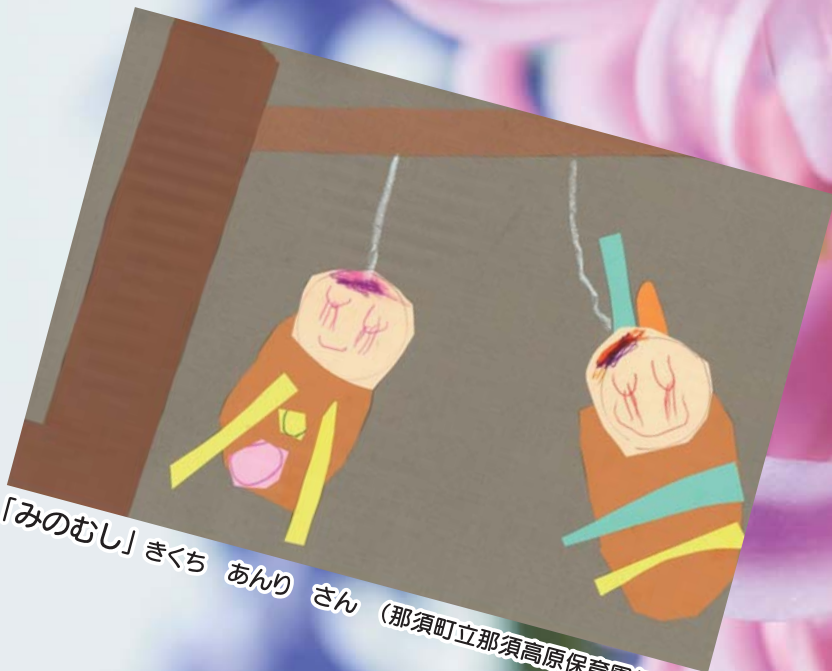
栃木の保護者の声でつくる

栃木県幼児教育センター情報誌

おうち

テーマ **想像力を育む**

第30号
2017.2



「みのむし」きくち あんり さん (那須町立那須高原保育園年中)

絵本作家
いわむら かずお

プロフィール
益子町在住の絵本作家。代表作に「14ひきのシリーズ」がある。那珂川町の「いわむらかずお絵本の丘美術館」で館長も務め、絵本・自然・子どもをテーマに活動している。



幼児体験とわたしの絵本

わたしの幼児期は、あの悲惨な戦争の末期、決して幸せとはいえなかった。住んでいた東京がアメリカ軍の空襲で危なくなり、わたしは小学生の兄とふたり両親と離れ、秋田県に住む祖父母のもとへ疎開した。まだ親に甘えたい盛りなのわたしは、さびしさと不安とひもじさに押しつぶされそうになって、じっと耐えていた。小さなこともたちまで巻き込む戦争は、国家が犯す許しがたい犯罪だ。

幼児体験の記憶は断片的だが、わたしにとつての原風景となつて、何枚も心の奥に焼き付いた。この原風景の存在は、絵本作家のわたしの発想に影響を与えている。

出版の前年、東北旅行に出かけたわたしは、列車の中からりんご園を見つけ途中下車した。りんご園に入っていくと、わたしはまっ赤な実をたわわに実らせたりんごの木に心を奪われた。そして、たまらない懐かしさがこみ上げてきて、りんごの木をスケッチしながら、しばらくその思いに浸った。

帰りの列車の中で、りんごの木の下に立っているほっぺの赤い少女の絵を描きたいと思った。りんごの木が、眠っていたわたしのなかの原風景を呼び起こしたのだ。

それは疎開先の秋田でのこと、祖父母の家の階段の踊り場に小さな机が置いてあり、そこがわたしの居場所だった。机の前の窓から隣のりんご園が見えた。11月にもなると雪が降り始め、取り残された赤いりんごの上に白く積もっていくのを、わたしはじっと見つめていた。赤いりんご以外は暗いモノクロームの世界だった。

「想像力を育む」

(対象: 県内の年少・年中・年長の子をもつ保護者 回答数3327: 年少 1180 年中 1100 年長 1047)

Q1 お子さんは、何に見ると言いましたか？

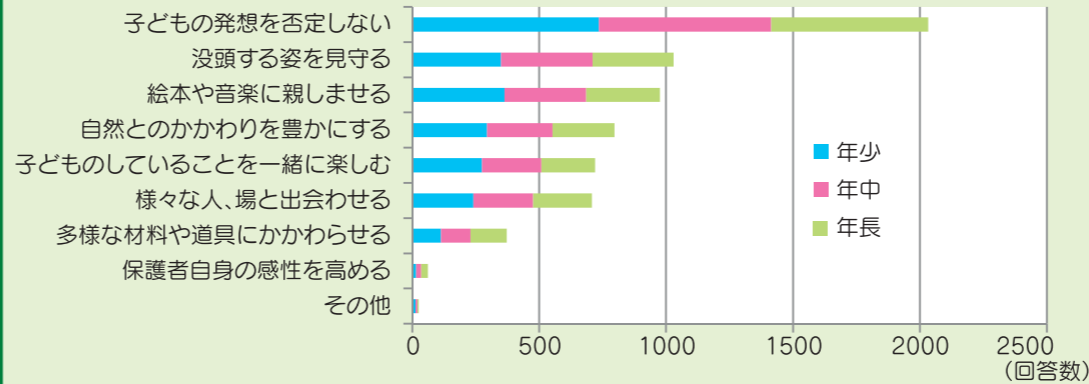
紙飛行機 赤ちゃんうさぎの三角の家
 折り紙のお相撲さん からかさおばけ
 クリスマスツリー たなばた
 五重塔 ロケット
 魚の追いかけっこ スカイツリー
 おでん かばさんのしっぽ
 親子のカメ 笹だんご

子どもの発想って、無限ですね。
 いろいろな方向から見る発想にも驚かされるピヨ。



Q2 お子さんの想像力を育むために、大切にしていることは何ですか？

(2つまで複数回答可)



「子どもの発想を否定しない」という意見が、どの年齢でもトップだったピヨ。



「想像力を育む」に関するエピソード

お芋掘りで、そのツルを見て「迷路みた〜い」「綱引きしてるみたい」と子どもたちの声。その発想が自然の中から出てくるのは心が純粹だからこそと思いました。
 (認定こども園すみれ幼稚園保護者)

2つの絵の間違い探して、片方にリンゴがないのに気付きました。それを泥棒に取られたと発想。そこからのストーリー展開が楽しく、親子の会話も弾みました。
 (小山市立若木保育所保護者)

「クレーンゲームを段ボールで作って!」と下の子に言われた姉。難しいだろうと思いつつ、親は見守ることに。すると、私が思ってもみなかった素敵なものに!二人であれこれ考えを出し合いながら作り上げたことに興味しました。
 (すぎのこ三島幼稚園保護者)

「変な動物？」

絵を描いていた3歳児の中で、こんなやとりがありました。A君が「できた!」と言うので見ると体が三角、足は3本、角か耳のようなものが2つ生えている生き物のようです。それを見たB君が、「変なの、そんなのないよね〜」と。するとA君は「変なのって言われた」と伝えに来ました。そこで私は、「あら素敵。この動物さんは大人?子ども?」「子ども」「大人になるとどうなるの?」「んー、しっぽが生えます!それで…」A君は嬉しそうにさらにイメージを膨らませ徐々に絵を描き足していきました。

最初はぼかんと見ていたB君や周りの子どもも、「こんなのもいたりして!」「これは変な食べ物!食べさせよう」と自分の思いを絵にして「見て見て」のオンパレード。受け入れられた喜びと、認められた満足感、友達との輪も広がっていくように見えました。あの時、もしも私が「ほんと、変だよね」と言っていたら…。

子どもが自分で感じたことをありのままに表現しようとする姿を、これからも優しく見守り、育てていきたいです。



那須烏山市立つくし幼稚園
 阿部 孔子 先生

「ファンタジーからつながる発表会」

ある日、園庭で遊んでいると何かが描かれた紙があちこちに落ちているのに気付いた4歳児。「なんだろう?」と思いながらそれらを繋ぎ合すると、園庭に棲んでいる妖精「ひげじい」宛ての手紙と地図でした。手紙の差出人はこまるん星から遊びに来た「こまるん」。どうやら助けを求めている様子。

こまるん星に帰るにはロケットの燃料となる「いいところめがねパワー」、「ありがとうパワー」、「できたよパワー」の3つを集めなければいけないようです。でも「どうやって集めるの???」…そこから「わくわくさん(4歳児)」の奮闘が始まりました!



約1ヶ月、ファンタジーと現実の世界の狭間で遊んだ「わくわくさん」。その様子を子どもと一緒に発表会の劇にしました。

これからもファンタジーの世界の住人に手を借りながら、子どもの想像力の広がりを手助けしていきたいです。



つながるほいくえん 釜井台
 宇賀神 摂子 先生

ぴよちゃんの応援メッセージ



子どもは夢中になって遊び、ものや人、自然と関わりながら様々な想像を巡らしています。その中で、豊かな発想や素朴で純粋な思いが膨らんでいきます。さらに、相手の気持ちを思いやったり、物事の先を見通したりする力の素地も育まれます。

遊びや生活の中で、大人の固定観念にとらわれない子どもらしい見方・考え方を大切に、想像力を豊かに育てあげたいですね。ピヨッ



親子でクッキング ミキサーいらずキウイスムージー

キウイスムージーは飲む点滴とも言われています。ごくごく飲んでいっぱい遊ぼう!



森田 浩子
栃木県幼児教育センター長



材料 (1人分)

- ◎キウイ…1個
- ◎はちみつ…大さじ1
- ◎水…100ml
- ◎チャック付ポリ袋…1枚
- ◎塩…2つまみ
- ◎氷…適量



飲んだときにのどにひっかからないように、よくつぶそう!

1 皮をむいたキウイをチャック付ポリ袋に入れる。



2 チャックをしっかり閉め、両手でよくつぶす



固いところがあったら取り除こう!

3 塩、はちみつを加えてつぶしながらよく混ぜる。



チャックをもう一度閉めよう!

4 水を加えて上下に20回程度振る。

① はちみつは1歳未満の乳児には飲ませないようにしましょう。キウイはアレルギーがないか注意してください。



完成!

容器に移してお好みで氷を入れたらできあがり!

御協力ありがとうございました!



みやたりく(年少)とお母さん



県立図書館から

おすすめの1冊

ぜひ、読んでみてください。



前澤 慎也
県立図書館職員

『かじってみたいな、お月さま』評論社

(F・アッシュ/絵・文 山口文生/訳)



お月さまをかじってみたいクマくんは、ロケットを作ってお月さまへ行こうとします。寒い季節になり、眠くなっても作業を続け、やっと完成したロケットに乗り込んだクマくんですが…。

「クマくんは月に行けたの?」「クマくんの食べているものは、本当に月なの?」この答えを想像すると、クマくんの言葉や行動に対して、微笑ましい気持ちになります。

家庭教育ホットライン(保護者専用)

(ひとりで) なやむな

TEL028-665-7867

受付時間 月～金曜日 午前8:30～午後9:30
土曜日 午前8:30～午後5:30

(日曜祝日、年末年始等は留守番電話・FAXでの受付となります。)

保護者のみなさん!お子さんの育児、子育て、しつけ等家庭教育のことや友達、いじめ等対人関係のことなどで困っていること、悩んでいることはありませんか?

秘密は絶対に守ります!一人で悩まず気軽に御相談ください!

メール相談はこちら

パソコン <http://www.hothotmail.jp>

携帯・スマホ <http://www.hothotmail.jp/m.html>



ぴよちゃんをこれからもかわいがってください

ぴよちゃんの原作者 森田 侑季さんが遊びにきてくれました



幼児教育センター情報誌「おうち」第30号

平成29年2月1日発行

発行者 栃木県総合教育センター幼児教育部
(栃木県幼児教育センター)

URL: <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youjji/>

*バックナンバーはホームページで読むことができます。

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070

TEL:028-665-7215 FAX:028-665-7216

E-MAIL: yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp



マスコット ぴよちゃん

おわび

「想像力を育む」に関するエピソードで、文中の「関心しました」は、「感心しました」の誤りです。大変申し訳ありませんでした。